

光が丘第五小学校・光が丘第六小学校 統合準備会(第 13 回) 要点記録

開催日時	平成 21 年 8 月 31 日(月)午後 7 時~午後 8 時 35 分	
会場	光が丘第六小学校 視聴覚室	
出席者	委員	鈴木久、嶋英治、表迫信行、長田幸子、佐藤育子、田辺しゅう子、横山かおる、渡部博子、白鳥由美、濱本日出雄、野村直子、大内美佐江、今給黎摂子、関根聡吉、粟野麻美(敬称略)
	その他	学校教育部長、学務課長
	事務局	新しい学校づくり担当課
傍聴者	1 人	
案件	<ol style="list-style-type: none"> 1 統合準備会(第 12 回)の要点記録の確認 2 平成 22 年 4 月以降の就学先確認アンケートの実施について 3 統合新校の通学路について 4 統合新校の校章について 5 その他 	

1 統合準備会(第 12 回)の要点記録の確認

事務局

事務局が作成した「統合準備会(第 12 回)の要点記録(案)」の内容を、委員の方々に確認してもらいたい。訂正すべき点があった場合は、9 月 7 日(月)までに事務局へ連絡してほしい。その後、発言者を無記名にして、新しい学校づくり担当課のホームページで公開する。

2 平成 22 年 4 月以降の就学先確認アンケートの実施について

学務課長

現在、統合対象校に在籍している児童の平成 22 年 4 月以降の就学先については、現在在籍している学校の統合新校へ就学することを基本としているが、通学区域外から統合対象校に就学している児童については、平成 22 年 4 月以降の就学先として、“統合新校へ就学する”または“通学区域の学校への転校を希望する”のいずれかの意向を確認するため、9 月上旬にアンケートを実施する。また、このアンケートを踏まえ、11 月下旬に、統合新校へ就学する児童全員に対し、入学通知書を配付する。

- 質疑なし -

3 統合新校の通学路について

事務局

前回のものを修正した形で統合新校の通学路案を作成したので、確認していただきたい。また、信号機の設置に関する要望書については、全委員の氏名を記載のうえ、会長名で8月28日（金）に光が丘警察署に提出した。

会長

通学路は、大通りを中心に指定するほうがよいと思う。他に意見がなければ、この通学路案やこれまで出た意見・要望を新校である光が丘夏の雲小に引き継ぎ、新校で通学路を指定していくこととする。

- 異議なし -

4 統合新校の校章について

事務局

前回の協議では、応募のあった校章図案の中から委員1人5点以内で、統合新校の校章にふさわしいと思うものを事務局まで提出していただくこととなっていた。先日、委員全員から提出があり、37点に絞り込まれた。2票以上得票のあった上位18位までを、必要に応じて線を太くする等の補正をした。今回は、1点に決めていただきたいので、本日、この中から出来る限り絞り込んでいただきたい。

委員

前回の校章図案に手を加えているのか。

事務局

専門業者が、複数票のあった校章図案を適宜、補正している。補正する必要がないと判断したものは、原案のまま掲載している。

委員

補正によって原案のイメージが変わった校章図案がある。応募者の意向に沿ったものなのか。

事務局

募集の際、選考の過程で応募作品を専門家が補正する必要があることを伝えているので、応募者に了解はとっていない。

委員

学校指定用品ごとに校章の色あいを変えるのか。

事務局

校章図案は単色であり、この場で配色を考える必要はない。学校の判断で色合いが変わってもいいと思う。補正で原案のイメージが変わっている校章図案は、その取り扱いを適宜、協議していただきたい。

委員

原案の趣旨に沿った校章図案で選考したほうがよいと思う。

委員

今回は、複数票の校章図案から選考するのか。

会長

他の統合準備会の検討状況はどうか。

事務局

光一小・光二小は、16点から協議の結果、6点に絞り込んだ。光三小・光四小は、35点から郵送による1人1票の投票で5点程度に絞り込むことになり、投票の際に理由も明記することになった。光七小・田柄三小は、30点の中から郵送による1人3票の投票で、10点程度に絞り込むこととなった。

会長

投票の結果、上位何点まで残したらいいのか難しい。

委員

私は、すでに1点に絞り込んでいる。複数の校章図案を選んでいる人も、優先順位をつけているのではないか。

委員

児童にアンケートをとるのはどうか。

会長

児童に問うためには、候補の数を絞らないと難しいのではないか。

委員

児童に意見を聞くのは賛成だが、候補の数は少なくとも一桁に絞らないと難しい。

委員

票の多さで絞ってしまうと残らなくなるかもしれないので、児童の校章図案を大事にしたい。

委員

児童の校章図案を含む2票以上で絞ったらどうか。

副会長

児童にゆだねるのではなく、大人の判断もある程度必要ではないか。

会長

児童の発想を生かしたいのは理解できるが、統合新校の校章は、統合準備会の責任で決めるべきだと思う。委員一人ひとりが児童の思いを汲み取りつつ、判断するべきだと思う。

委員

どの季節でも違和感がないように、「夏」は校章に直接入れないで、デザインで表現したほうがよいと思う。また、児童に選ばせるのなら、3点程度に絞らないと選べないと思う。問題は、統合準備会でそこまで絞り込めるかどうかだ。

委員

各委員に第1希望の校章図案を出してもらったらどうか。

委員

統合準備会で数点に絞らないと、低学年の児童がきちんと選べるかどうか不安だ。

委員

統合準備会で候補を1つに絞ってから児童に聞くべきだ。

委員

校章に校名を明記したほうがよいかどうかを伺いたい。

会長

光五小の校章は校名が入ってないが、皆から親しまれている。

委員

前回の選考で5つ選ぶのが大変だった。今回は、1、2点にしたらどうか。

会長

校章は、応募した児童の趣旨を汲んで統合準備会で選考していくべきだと思う。複数票が得られた上位18点から選定理由を明記のうえ、各委員1人あたり1点で選考する。選考用紙は、後日、事務局から各委員に郵送する。次回は、選考の結果、上位5点程度の校章図案から1点

に絞り込むということでしょうか。

- 異議なし -

5 その他

会長

次回は9月30日(水)午後7時から、光五小で開催し、引き続き統合新校の校章を協議するとともに、統合新校の校歌について検討する。次々回は、10月29日(木)の午後7時から光六小で開催する。本日は、これをもって終了する。